

21伊豆山稜線歩道(2) 風早峠～船原峠

広々とした解放感あふれるササ原とアセビのトンネル春にはマメザクラに包まれる稜線を歩く

さんりょうせん

前項の伊豆山稜線歩道(1)の終点を風早峠としたが、ここに宿泊施設はないので、持越温泉まで下らなければならない。距離にして10・8kmもあるのに続いて歩くのはちょっとつきつい。宿の車かタクシーを頼まなくてはならない。風早峠から船原峠を歩く場合も逆に持越温泉、または宿泊先からの宿の車がタクシーを利用しなくてはならない。

伊豆山稜線歩道は西天城高原線の道路とほぼ平行しているので、自然保護や動物にやさしい処置がされている。その一つがカルバートである。カルバートとは、この辺りに生息している二ホンジカや二ホンイノシシ、ノウサギ、タヌキなどの生活圏を道路が分断してしまうことがないように、けもの道のあつた所に動物移動用のトンネルを道路下に設置したものである。これにより、動物の生活圏の確保と交通事故を防ぐことができる。カルバートは横4mのボックスカルバート(3ヶ所)と直径2mのパイプカルバート(6ヶ所)の2種類がある。

船原峠まで8km。随所に道標が設置されているので、安心して歩けるが、階段の上り下りが多く、足腰の弱い人は避けたほうがよい。特に膝や腰に故障のある人にはおすすめできない。

また、海岸に近い稜線なので季節

風が強く、晚秋から早春にかけては

防寒衣類と風除けの衣類も必要。2

～3月には雪の降ることがある。

おすすめはマメザクラやアセビの

咲く4月、新緑の5～6月、紅葉シ

ズンの11月。

風早峠から道路に平行した尾根道を行く。途中から林道となり宇久須峠へ。休憩舎と案内板、石仏がある。ここからしばらくスズタケの草原の木の段の上り。振り返ると、猫越岳や後藤山の山並み、天城放牧場の建

から富士山を初め、これから向かう

の標高993mは333mの誤り。

船原峠から木の段を上り、アセビのトンネルに入ると魂ノ山。案内板

から富士山を初め、これから向かう

の標高993mは333mの誤り。

魂ノ山からは下り。木の段の途中

から富士山を初め、これから向かう

の標高993mは333mの誤り。

船原峠から木の段を上り、アセビのトンネルに入ると魂ノ山。案内板

から富士山を初め、これから向かう

の標高993mは333mの誤り。